

2024年度「近江鉄道線活性化に取り組むみなさんの交流会」報告書

1. 近江鉄道線活性化に取り組むみなさんの交流会とは

「近江鉄道線活性化に取り組むみなさんの交流会」は、近江鉄道線の活性化を目指す、またはこれから取り組もうとするみなさんが一堂に会し、交流を深める会です。これにより、既存の取り組みをさらに活性化させるとともに、新たな取り組みの創出を図ることを目的としています。この交流会は2021年に始まり、今年度で4年目を迎えました。

2024年10月19日(土)には、近江鉄道株式会社が主催する「ガチャフェス 2024」が開催されました。当日は近江鉄道線全線が100円で乗り放題(小学生以下は無料)となり、多くの住民や来訪者が鉄道を利用してイベントを巡りました。「ガチャフェス 2024」は今年で2回目の開催となり、昨年を基盤に、多くの地域イベントと参加者が集まりました。

本交流会では、この成功を踏まえ、さらに駅前のにぎわいを創出するためのアイデアを出し合いました。また、「ガチャフェス 2024」に参加した団体を中心に、イベントの振り返りを行いながら、参加団体間の交流を深め、自由に意見交換を行う場になっています。



(過去の交流会の様子: 2022年度(左)、2023年度(右))

2. 当日の詳細

会場: 古河AS株式会社様本社 ※副駅名を持つ沿線企業としてご協力いただきました

日時: 2024年11月23日(土) 14:00~16:30

参加者人数: 28人(沿線関係者18人、近江鉄道関係者10人)

タイムライン:

14:00~14:20「開会の挨拶と本交流会の目的」

14:20~15:00「第一部:ガチャフェスの振り返り」

15:00~15:45「第二部:グループワーク」

15:45~16:15「みんなの行動宣言」

16:15~16:30「閉会の挨拶」



(当日の様子: 古河AS株式会社様本社外観(左)、交流会会場(右))

3. 第一部「ガチャフェスの振り返り」

第一部では、10月19日に開催された「ガチャフェス 2024」に参加した感想や意見を共有するセッションを設けました。このセッションでは、参加者が「Good(良かったこと)」と「Motto(もっとこうすれば良くなると思ったこと)」の2つの視点から意見を出し合い、ディスカッションを行いました。これらの意見(次ページ)は、地域全体の一体感をさらに深めるためのヒントとなる重要な提案として受け止められました。このセッションでは、多様な視点を共有し、「ガチャフェス 2024」の成果をさらに高めるための具体的な改善策やアイデアを得る貴重な場となりました。



(ガチャフェスの振り返りの写真)

4. 第二部「グループワーク」

第二部では、他団体の方々と交流しながら、「ガチャフェス」をきっかけに「地域のにぎわいづくり」に繋がるまちづくりや地域活動についてアイデアを出し合いました。各参加者が自分の視点や知識を活かし、多様なアイデアを提案しました。例えば、イベント出展者同士の横の繋がりを強化するためのネットワークづくりや、沿線付近の企業とのコラボレーションなど新しい企画の提案がありました。これらの提案は、参加者の多様な経験と近江鉄道への想いが反映されたものであるといえ、実現可能性と独自性の両面を兼ね備えた内容でした。最後に、グループごとに話し合った内容を全体で共有する時間を通じて、各グループのアイデアに対する理解が深まり、他の参加者から新たな視点やフィードバックを得ることができました。



(グループワーク中の写真)

(各チームの振り返り&アイデア)

Good	Motto
<p>イベントの成功要因と評価</p> <ul style="list-style-type: none">● すごく盛り上がった● 雨に関わらず盛り上がった● 去年の結果が生かされた(開催場所など)● 1回実施で参加団体意欲up● 「むすび祭り」成功GOOD● 「にぎわいづくりDAY」のタイトルが良かった● ワイワイよかった <p>訪問者とのコミュニケーション・参加</p> <ul style="list-style-type: none">● 訪問者とのコミュニケーション● 人の多さ、ホームでお話できた● つながり・コミュニティの場が増えた● テーマイベントきっかけで参加した方が多い● ガチャフェスのおかげで駅が目的地に● ガチャフェスを発展の場に● 地元の方の発表の場として盛り上がった● 新たな目玉が増えた <p>イベント内容・プログラム</p> <ul style="list-style-type: none">● イベント増、ワクワク感強● イベントの選択肢が広がった● テーマイベント「コーヒー」に行きたかった● テーマ性を持たせた映画作成● 沿線で多くのイベントに参加できる <p>広報・案内</p> <ul style="list-style-type: none">● 協賛ポスター● WEBサイトが充実していた● 検索がスムーズだった <p>鉄道・交通の利便性</p> <ul style="list-style-type: none">● 電車の接続が良かった● お酒を飲んで電車に乗れる流れがgood● 近江鉄道の魅力発見● 水口城南駅の絵もso good、電車乗ってる人も周りの人も● JRの方も盛り上げていただいた感(汽笛など) <p>飲食関連</p> <ul style="list-style-type: none">● 買・飲・食を入れて良かった● 飲食を一緒になって盛り上げる <p>その他(雨対策・トラブル)</p> <ul style="list-style-type: none">● 雨対策を行った● 八日市駅商店街雨でもOK● たのしかった、トラブルはなかった	<p>鉄道や駅を活用した企画</p> <ul style="list-style-type: none">● 全駅でイベントを行う● 中間駅で降りてもらえるような工夫● 駅ごとの特色を活かす(特産品・イベント)● 駅近の居酒屋さんやカフェとの連携● 水口石橋駅としての特色・拠点作り● モデルコースの設定(複数案があると嬉しい)● 回遊できる仕組み(スタンプラリーやシール)● イベント会場までに何か仕掛けを増やす● 駅から遠いイベントの案内をもっと充実● 他地域とのイベント連携、共同で何か企画● 勝手にガチャフェスおすすめコース発信 <p>イベント内容とスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none">● 夜に食べて飲める企画● 日本酒(地酒)まつり● 雨の日でも楽しめる企画● 年2回または4回の定期開催● 2日間開催にして回りやすくする● ゆるキャライベントと被らないよう調整● 春日国府周辺の一体感や横のつながりを意識 <p>宣伝と周知</p> <ul style="list-style-type: none">● 紙のパンフレットやチラシが欲しい● チラシ配布の工夫(食堂・トイレなどに設置)● 2週間前からのぼりを立てて目に見える形で告知● ポスター設置場所の見直し● X(旧Twitter)やLINEでの発信強化● 昨年まで知らなかった人へのリーチを増やす● 外国の方への案内対応 <p>ボランティアや運営の改善</p> <ul style="list-style-type: none">● ボランティアが参加しやすい仕組み作り● 駅スタッフの案内の改善● 他の地域イベント参加団体との情報交換や連携を図る場の設置● 事前にチケット購入ができる仕組みの周知 <p>利便性とインフラ整備</p> <ul style="list-style-type: none">● 荷物が多くても対応できるような配慮● 駅や会場にトイレや休憩スペースの充実● 駅にフオスポットやカフェの設置● 市町村情報を近江鉄道が把握できる仕組み● 行政との連携を強化し、無料バスの周知など <p>改善案・課題</p> <ul style="list-style-type: none">● 1日では広域化しすぎて回り切れない● 雨天時の運営に課題(雨が降っても楽しめる企画)● 参加団体だけの告知に留まった問題を改善● ただの地域のお祭りになるのを防ぐ(企画に独自性)● 他イベントとの競合や行政の参加が少なかった課題の対処

アイデア

鉄道関連の活用

- 県全駅で協力ができれば
- 近江鉄道×企業ツアー(沿線のPR)
- 地域電車の違う形のイベント(鉄道を含めた回遊計画)
- 地酒電車とは違うイベント(蔵をまわるなど)
- ガチャフェス当日使えるポイント地域イベント、駅へのボランティア募集→関係者増やす
- 近江電車クロスシートで婚活イベント(ガチャ婚)
- 電車内で各駅の情報アナウンス
- 駅舎の活用方法、貸出
- 駅の居場所化(コミュニティスペース・コワーキングスペース)
- 尼子駅のロータリー活用
- 河辺の森で星を見るイベント
- 駅で住民票を取得可能に
- 駅で新種イベント(例:スケッチコンテスト→ギャラリートレインとして展示)

PRと広報

- ガチャフェス当日YouTubeなどでリアルタイム配信
- 事前PRの強化(口コミ、SNS、沿線の市町村からの告知)
- 全く知らない人へのアプローチ工夫
- ガチャフェス後訪問の機会づくり
- 他地域のイベントでの告知・広報誌に掲載
- 地元の情報BOXやカレンダーを活用
- 「豊郷あかね」ちゃんアピール
- 「けいおん！」とのコラボ(例:切符など)

地域活性化と連携

- 地元発信者との連携を活かす場作り
- 飛び出し坊や(オリジナルver)
- 農業者や企業の自己紹介の場づくり
- ガイドツアー(マイナーだけどすごい場所への案内)
- 複数イベント(スポーツ系など)とのコラボ
- 自分の地域を好きになってもらうことが一番
- エリアごとのイベント→他エリアの人が関われるように
- 市町のメインロードをのぼりでジャック
- 太郎坊宮st→天狗でまちの活性化

イベント内容の工夫

- ガチャフェスのリタートークを活用したワークショップ作成
- 景品づくり(地元の方々が協力する形でのお店)
- オクトーバーフェスの日本酒版
- 連携のお店の方々と(飲食含む)
- スポーツや星を見るイベントをブラッシュアップ
- イベント期間を延ばす(2日間開催)
- 10月以外の時期に開催(他イベントとの競合を避ける)
- 規模を小さくして人を集める

インフラ改善と施設の利用促進

- 駅にトイレを整備してほしい
- 駅にフォトスポットを設置する
- 駅に絵を展示する
- 駅周リスペースをよりアクティブに活用(ゴールデンルート)
- 駅舎や近隣施設の利用促進、通勤を増やす

5. みんなの行動宣言

第二部で生まれたアイデアを「単なる意見」に留めることなく、実際の行動に繋げるための時間を設けました。これを「みんなの行動宣言」と題し、各団体・個人がその日から取り組める具体的な一歩を宣言しました。以下の表のように、「近江鉄道・地域と行政との橋渡し役」「ガチャフェスの開催日も含め、地域と連携して近江鉄道駅を盛り上げていく」「地域の声を会社内で共有！その窓口になる！！そして力を合わせて実現へ！」など、実践的かつ前向きな宣言ばかりでした。これらの行動宣言を共有することで、参加者全員がそれぞれの考えや意欲を知ることができ、来年の「ガチャフェス」開催に向けてより一体感が生まれ、前向きな雰囲気広がりました。



(交流会参加者のみなさんの行動宣言の様子)



(行動宣言を掲げての集合写真)

みなさんの行動宣言リスト

No	行動宣言	団体名
1	近江鉄道・地域と行政との橋渡し役	東近江市
2	近江鉄道はもちろんJR、路線バス、コミュニティバス、タクシーは町を元気に保つ血液のようなものというコトを誰しもおもう当たり前の考えにする。	東近江市
3	まちづくりと交通の広場しが	やさしい交通しが
4	来年もコーヒー&石段ダッシュで太郎坊をPR！！	太郎坊チャレンジ実行委員会
5	仕事でも仕事でなくても関わりを持ちます	愛荘町
6	駅周辺のハード整備 近江鉄道社員様と情報交換を継続したい！！ 小中学生が参加できるイベントの開催近江鉄道を利用して！！ 今日はありがとう♡	水口まちづくり協議会
7	NEWなコラボで、ます！マス！	彦根を盛り上げ隊～小江戸実感劇団～
8	横のつながりを大事に！！	あいのみ企画室
9	X民なのでXで近江鉄道さん関連で気づいたことやイベントなどあったらことあるごとにつぶやきます	あいのみ企画室
10	イベント前後の横(他団体さま)との連携！！	日本赤十字社 滋賀県赤十字血液センター
11	駅舎内部のリニューアル！ 八日市～高宮間の中継駅の危機感を盛り上げる！	
12	ガチャフェスの開催日も含め、地域と連携して近江鉄道駅を盛り上げていく	日野町交通環境政策課
13	駅でcafeやりませんか?他市町のひとカンゲイ！	一社)こうけん舎
14	ネットワークを広げて相互に支える	水口まちづくり協議会
15	自分のSNSで発信する	彦根市シティプロモーション
16	これからも地域・街の魅力をどんどん見つけていく！！そして更に好きになる	彦根市シティプロモーション
17	参加する	甲良町観光協会

参考

(各チームの振り返り&アイデア)



